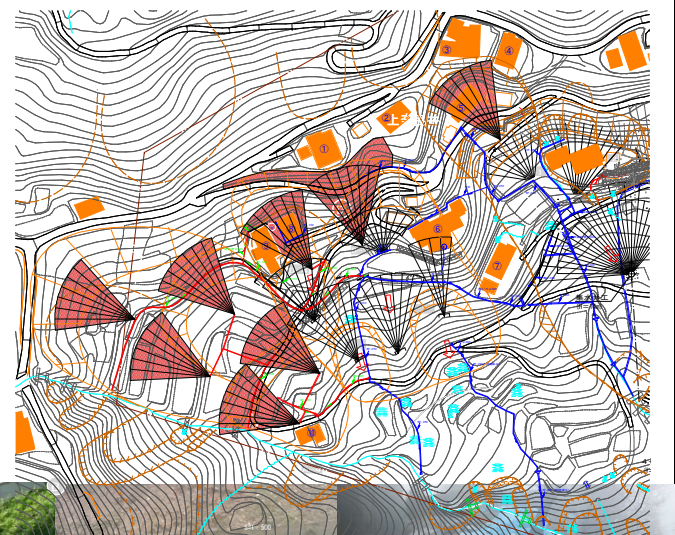
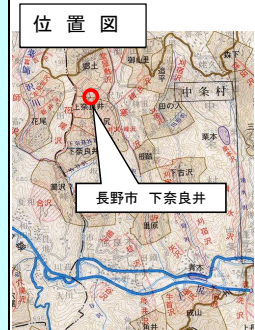


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		地すべり対策事業		路河川名等	下奈良井区域		
事業毎の通番		3	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	下奈良井(しもならい)	
事業概要	事業目的	下奈良井地区は長野市中条に位置し、過去から幾度も地すべり滑動が発生している地域である。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い亀裂が発生した。区域内には人家や市道があり今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を行う必要がある					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備)		事業実施の根拠法令等	地すべり等防止法		
	関連する事業、計画等	なし					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	一級河川薬師沢川、人家10戸、長野市道大野奈良井線					
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.76	国庫	その他	県債
	全体事業内容(主な工種)	横ボーリング工 L=3,000m 水路工 L=1,000m 法枠工 A=300m <sup>2</sup> アンカー工 N=75本			200,000	100,000	90,000
	年度事業内容(主な工種)	解析・調査委託 1式			10,000	5,000	4,500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、道路等の保全				
		間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い地域づくり				
評価の視点	必要性	人家戸数:	保全対象人家10戸		評価	B	
	公共施設数:	長野市道大野奈良井線					
	要配慮者利用施設の有無:	無し					
	河川への土砂流量:	50,000m <sup>3</sup>					
	重要性	過去の災害履歴:	平成26年11月22日 長野県北部の地震により崩落が発生		評価	A	
	交通遮断による地域経済への影響:	長野市道大野奈良井線					
地域防災計画上の位置づけ:	既指定の地すべり防止区であり、地域防災計画に記載されている						
効率性	費用便益比(B/C):	B/C=2.76		評価	A		
事業期間:	4年間						
工法等の比較検討:	現在のところ比較検討は行っていない						
緊急性	地すべり滑動度:	30mm/月 程度の動きあり		評価	B		
地すべり変状:	斜面崩落や亀裂変状が確認されている						
下流の堰堤等の整備状況:	堰堤は満砂している						
計画熟度	事業情報の共有:	関係者に対し事業説明会を実施し周知している		評価	A		
地域の取り組み:	地元要望があり、合同で現地調査を実施している						
地域の合意形成:	整備手法に対し地域の合意形成が図られている						
住民との協働:	住民主導型避難体制づくりに取り組んでいる						
部意見	地震により発生した地すべりが、今後の降雨や融雪等により拡大する恐れがあり、緊急に整備する必要がある。	行政改革課意見	今後の降雨等により活動が活発化する恐れがあり、保全対象に人家、市道があることから、重要性が認められる。	評価結果	総合評価	O B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



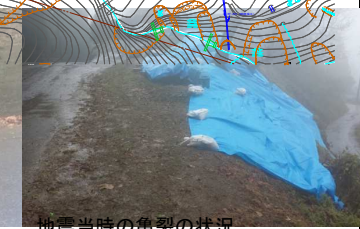
【整備の必要性がわかる状況写真等】



春先の融雪による崩落



道路構造物の亀裂



地震当時の亀裂の状況

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	下奈良井地区は長野市中条に位置し、過去から幾度も地すべり滑動が発生している地域である。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い亀裂が発生した。区域内には人家や市道があり今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を行う必要がある	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地震災害発生直後から地域より要望がある。	
③事業説明等の経緯	事業について関係者へ説明済み地元からの要望が強い。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	無し	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	横ボーリング孔口等、法枠工施工し緑化を図る、環境や景観に馴染むよう配慮する。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。	
⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36.630500 東経:E 138.004200